

# 雨水アイデアコンテスト

A. 雨となかよくくらすために「家でできること」

応募者：登録 No. 001 三村紀美子

バケツ 1～2 杯程度の水を集めるための簡単な装置

植物の水やりには、土壌の環境を考えると、塩素の入っていない雨水が最適なのですが、雨水タンクの設置は敷居が高いため、代わりになるものを自作しようと考えました。

## 1. 集水装置の条件設定

とにかく敷居が低いものにしたかったため、試作に際し、以下のような条件を設定しました。

- ① 安価である。
- ② 材料が簡単に手に入る。
- ③ 女性ひとりでも設置可能。
- ④ メンテナンスが簡単。
- ⑤ 持ち運びできるくらい軽い。
- ⑥ 不要なときには、しまうことができる。
- ⑦ 景観をあまり損なわない。

## 2. 試作

ホームセンターで売っている雨どい（軒どい）が思ったより軽く、色もシックだったので、バケツと組み合わせて使ってみることにしました。180 cmの雨どい数本をバケツに入れ、塀に立てかけるだけで機能するようでした。

## 3. 改良

通常のバケツだと、安定が悪く、倒れてしまうことがあったため、重心の低いバスケット型のソフトバケツに変更しました。

## 4. 結果

雨脚が強いときは、比較的簡単に水が集まりました。雨量が少ないときは、雨どいを立てかける角度を低く



したり、雨どいの数を増やしたりすることで、ある程度は対応できました。

## 5. 注意点

- ①強風の場合は、雨どいが倒れるので使用できない。
- ②バケツにゴミや木の葉などが入るため、散水時に問題になるようなら取り除く。
- ③集めた水は、できるだけ早く使い切る。

## 6. 応用

塀などがなくても、高低差を利用したり、木に立てかけて使用したりできます。何セットか作れば、それなりの量の雨水を集められます。使用しないときは重ねられるので、かさばりません。



## 7. 材料費

雨どい（軒どい）：1本 1,000円程度  
※180cm、硬質塩化ビニル樹脂  
バスケット型ソフトバケツ：500円程度

## 8. その他

強風でも倒れないように固定することもできますが、使い勝手が悪くなるので、ひもなどで仮止めするぐらいがいいかもしれません。また、雨どいではなく、波板でも代用できましたが、かさばるうえ、雨どいよりも風に弱いのが難点でした。

以上

